

【予算額 34,716百万円】※

<内 訳>

- | | | | |
|-------------------------|-----------|--------------------------|----------|
| ●水質の汚濁の防止および改善 | 16,534百万円 | ●農林水産業、観光、交通その他の産業の振興 | 5,103百万円 |
| ●水源のかん養 | 10,239百万円 | ●施策の実施に資する調査研究 | 294百万円 |
| ●生態系の保全および再生 | 1,562百万円 | ●施策に取り組む主体、推進体制の整備 | 328百万円 |
| ●景観の整備および保全に関する事項 (※再掲) | 172百万円 | ●施策の実施に資する体験学習を通じた教育、その他 | 656百万円 |

※「景観の整備および保全に関する事項」については再掲。「合計」については再掲を除いている。

琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環をさらに推進

琵琶湖を『守る』取組

- 水質汚濁の防止対策
(気候変動の影響も視野に入れた水質管理手法の検討等)
- 水源林の適正な保全および管理
(水源かん養等の多面的機能を持続的に発揮させるための森林整備事業等)
- 生態系の保全および再生
(ヨシ群落、内湖等の保全再生等)
- 外来動植物対策
(オオバナミズキンバイ等防除、チャネルキャットフィッシュ等外来魚の駆除等)
- 水草の除去等
(水草対策、プラスチックごみ対策等)
- 水産資源の適切な保存および管理
(漁場生産力向上技術の開発等)



琵琶湖を『活かす』取組

- 山村の再生と林業の成長産業化
(林業就業者の確保・育成)
- 環境に配慮した農業の普及
(オーガニック農業の推進、農業濁水、農業系廃プラスチック対策、日本農業遺産認定の活用等)
- 環境関連産業の振興
(水草の有効利用に係る技術支援、水環境ビジネス等)
- 体験・体感による琵琶湖とのふれあい推進
(エコツーリズムの推進、ビワイチ等の琵琶湖の特性を活かした観光振興等)
- 琵琶湖漁業の持続的発展
(琵琶湖産魚介類の消費拡大・流通促進等、新規就業者の確保等)

琵琶湖を『支える』取組

調査研究	<ul style="list-style-type: none"> ●モニタリングの効果的な実施や気候変動適応策につながる科学的知見の収集 ●マイクロプラスチックに関する科学的な知見の収集と情報発信
多様な主体による協働	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な主体の協働と交流の推進にむけたマザーレイクゴールズ推進体制の構築 ●下流域住民や学生、団体との協働(清掃活動、琵琶湖水源林の保全整備等) ●ボランティア活動の推進
環境学習、教育 広報・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●体験型の環境学習の推進(農業体験、森林・林業体験、魚を学ぶ体験学習、琵琶湖博物館における体験学習等) ●学習船「うみのこ」や森林環境学習「やまのこ」、農業体験学習「たんぼのこ」などの教育・学習の推進